

## 2020年度 第16回 国家資格キャリアコンサルタント試験

### (キャリア協) 実技試験(論述) 解答例(中里)

**【設問1】** 事例記録の中の「相談の概要」(略A)の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。面談記録を手掛かりに記述せよ。(10点) 2行

正社員として仕事が忙しく大変だった前職を2年前に退職し、今は不妊治療をしながら再就職を希望しているが両立できるかわからず、また、どんな働き方が自分に合っているかわからず、不安になっている。

**【設問2】** 事例記録の下線Bについて、このケースを担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で質問を行ったと考えるかを記述せよ。(10点) 2行

相談者が今後どのような働き方を望んでいるのかについて、「以前の働き方」を振り返り、現在の生活状況と比較することで、ワークライフバランスの視点での新たな働き方に気づきを促すこと。

**【設問3】** あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。(20点) 2x10点 2行・3行

- ① **問題** 不妊治療をしながらの再就職であるが、前職での働き方に囚われワークライフバランスの視点での働き方が描けていず、マネープランを含めた中・長期的ライフキャリアプランが描けていない。
- ② **その根拠** 再就職に際し、今何を優先すべきかというワークライフバランスの視点で仕事を捉えず、「正社員は働き続けやすい」「育休も取れる」など、将来的な正社員のメリットに惑わされていることや、「あの仕事量を今はもうできない」と分かりつつ、中・長期的な働き方を描いていないことから。

**【設問4】** 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていか記述せよ。(10点) 6行

自身の働き方について「ずっと働き続ける」という目標を持ち、今後の働き方を自分なりに模索している姿勢をまずは支持する。その上で、正社員とそのほかの働き方について、それぞれのメリット・デメリットの書き出しを促し現在の状況とすりあわせをし、併せて、中・長期的な視点でのマネープランを含むライフキャリアプランを家族と共に作成してみるよう提案する。そうすることで、現在の状況での働き方について、また将来的な働き方も見据えてその都度変化し選択していけるよう促し、再就職について前向きになれるよう支援していく。